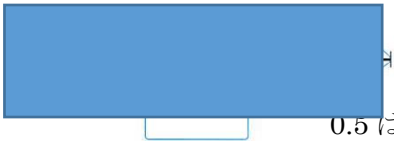


5 本時のねらい

小数+小数の計算は、「0.1 が 5 つ分と 3 つ分でたすと 8 つ分になるから 0.8」というように、「0.1 のいくつ分」で計算すればよいことが分かる。

6 本時の展開

	学 習 活 動	指導・評価
つかむ	問題 ジュースが 0.5 L 入っているパックと、0.3 L 入っているパックがあります。 1 つのびんに入れると、何 L になるでしょう。 1 立式について話し合う。 ・式は $0.5 + 0.3$。合わせて何 L を求めるからたし算だ。 ・小数もたし算の計算ができそうだ。答えは 0.8 になりそうだ。 ・小数チップや線分図で、証拠がつくれそうだ。	【研究内容 1】 ◎数学的な思考力を高めるために ・手を使って読むことで、問題場면을イメージさせる。 ・「小数でもたし算がつかえるということ？」と問うことにより、合わせての手の動きだから、小数でも「合わせて何 L」は、たし算が立式できることを確かめる。 ・掲示を見させ、「分数のときは、どんなアイテムを使ったの？」と問い、方法の見通しをもたせる。
考える	$0.5 + 0.3$ の計算のしかたを考えよう 2 一人学びで自分の考えをもつ。 ・小数チップで考える。  ・小数ものさしで線分図で考える。  0.5 は 0.1 の 5 つ分 0.3 は 0.1 の 3 つ分 合わせると、 0.1 の 5 つ分と 3 つ分で 8 つ分 だから答えは 0.8 <u>A. 0.8 L</u>	2 での机間指導 ＜答え 0.8 が求められる子＞ 「正しい答えが見つけれられたね」 ・「答えが 0.8 になることはチップのどこに証拠があるの？」など問い、答え 0.8 の根拠（0.1 の 8 つ分をはっきりさせる。 ＜答え 0.8 のしょうこが示せる子＞ ・「答えの 0.1 の 8 つ分がはっきりしているね」「8 つ分というのはこの図で言うところのことなの」「いくつ分といくつ分で 8 つ分になったの」など問い計算の過程を、ふりかえらせる。 ＜いくつ分で説明できる子＞ ・（掲示を見させ）分数の「いくつ分のお話」と同じように考えたことを認める。
まとめる	3 仲間学びで考えを交流する。 ・どの考え方も、「0.1 のいくつ分」で考えたよ。 ・「0.1 の 5 つ分と 3 つ分でたすと 8 つ分」というお話の仕方が大切だ。 4 $0.5 + 0.4$ を「0.1 いくつ分」で計算し、まとめにつなげる。 ・ $0.5 + 0.4 = 0.9$ (0.1 が 5 つ分と 4 つ分で 9 つ分) 5 まとめる。 小数のたし算は 0.1 のいくつ分考えればよい。 * 「0.1 のいくつ分といくつ分でたすといくつ分」	【研究内容 2】 ◎定着状況を見届け、確かな力を身に付けるために ・「〇〇さんの考えで大切なことはどんなこと？」「今日の大切として〇〇さんの言い方に挑戦しよう」などの助言で、2 点を確認する。 ・「0.1 のいくつ分」で考えたこと ・「いくつ分といくつ分でたすといくつ分」という表現 ・時間があればプリントに取り組む。
ふりかえる	7 りんご問題、鉛筆問題で練習する。 8 ふりかえる。 ・小数のたし算は、「0.1 のいくつ分といくつ分でたすといくつ分」で計算できたよ。	＜評価規準＞（数学的な考え方） 小数のたし算を、「0.1 のいくつ分といくつ分でたすといくつ分」と考えている。